

令和 7 年度

# フォローアップ研修の手引 ＜デジタル版＞

- ・ 教職 2 年次フォローアップ研修
- ・ 教職 3 年次フォローアップ研修

（小学校・中学校・義務教育学校）

令和 7 年 2 月

山 形 県 教 育 委 員 会

# 令和7年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職2年次フォローアップ研修の概要

## 1 目 的

山形県教員「指標」の始発期における公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。

## 2 主 催 山形県教育委員会

## 3 対象者

令和6年度に実施した、山形県小学校・中学校・義務教育学校初任者研修、山形県特別支援学校初任者研修、山形県高等学校初任者研修のいずれかを受講した者で、山形県公立小学校・中学校・義務教育学校の教諭（令和7年4月1日現在）とする。ただし、令和6年度以前に、教諭として国立学校又は公立の学校において1年以上勤務した経験者は含まない。

## 4 研修の内容・回数等

校内研修・ 校外研修の 区別	主 管	回数・時間 等	研 修 内 容
校外	山形県 教育センター	3回(午後)	○生徒指導力を高める研修 ・教育相談の基礎 (A・B日程) ○特別支援教育力を高める研修 ・発達障がいに関わる理解と支援 (A・B日程) ○教育公務員としての自覚を高める研修 ・教職2年次服務研修 (A・B日程)
	教育事務所 山形市教育委員会	2回(午後)	・課題研究研修
校内		30時間	・校長等の指導の下、計画的・継続的な 授業研究等

※ 教職大学院修了者は、校内における研修（30時間）を免除する。

※ 研修の実施日は、5月から翌年1月までの期間を原則とする。

## 5 年間研修計画

(1) 県教育委員会は、年間研修計画を作成し、次のことを定める。

- ① 校外、校内研修の内容及び日数等
- ② その他必要な事項

- (2) 教育事務所・山形市教育委員会は、県教育委員会が定める年間研修計画に基づき、地域の実情に配慮して、それぞれにおける研修計画を作成する。
- ① 教育事務所・山形市教育委員会は、それぞれにおける研修計画書、実施報告書を県教育センター所長へ提出する。
- ② 提出期限は、「13 教職2年次フォローアップ研修の実施手順」を参照すること。

## 6 山形県教育センター主管の研修

いずれもA・B日程で行うため、研修者は自身の日程を別添「研修者名簿」で確認すること。日程の移動を希望する場合は、下記のとおり連絡が必要となる。なお、市町村立学校の連絡方法等については、当該市町村教育委員会の指示によるものとする。ただし、山形県教育センター着の期限を過ぎた場合には、原則移動を認めない。

### (1) 教育相談の基礎

- ① 期 日 A日程 令和7年5月22日(木)  
B日程 令和7年5月27日(火)
- ② 会 場 所属校等 (Zoom を利用したオンライン型研修)
- ③ 主な講師 山形県教育センター指導主事
- ④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

連絡先 所属校	市町村教育委員会	教育事務所 (山形市教育委員会を除く)	山形県教育センター
市町村立学校	令和7年 4月16日(水)まで	令和7年 4月21日(月)まで	令和7年 4月23日(水)まで
県立学校	※ 下記メール宛て連絡 (様式は任意) kyose-kensyu@pref.yamagata.jp		令和7年 4月16日(水)まで

### (2) 発達障がいに関わる理解と支援

- ① 期 日 A日程 令和7年11月20日(木)  
B日程 令和7年11月27日(木)
- ② 会 場 所属校等 (Zoom を利用したオンライン型研修)
- ③ 主な講師 山形県教育センター指導主事
- ④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

連絡先 所属校	市町村教育委員会	教育事務所 (山形市教育委員会を除く)	山形県教育センター
市町村立学校	令和7年 10月8日(水)まで	令和7年 10月14日(火)まで	令和7年 10月17日(金)まで
県立学校	※ 下記メール宛て連絡 (様式は任意) kyose-kensyu@pref.yamagata.jp		令和7年 10月8日(水)まで

### (3) 教職2年次服務研修

- ① 期 日      A日程 令和8年1月16日(金)  
                 B日程 令和8年1月20日(火)
- ② 会 場      所属校等 (Zoom を利用したオンライン型研修)
- ③ 主な講師   山形県教育局教職員課管理主事  
                 山形県教育センター指導主事
- ④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

連絡先 所属校	市町村教育委員会	教育事務所 (山形市教育委員会を除く)	山形県教育センター
市町村立学校	令和7年 12月3日(水)まで	令和7年 12月8日(月)まで	令和7年 12月12日(金)まで
県立学校	※ 下記メール宛て連絡(様式は任意) kyose-kensyu@pref.yamagata.jp		令和7年 12月3日(水)まで

## 7 教育事務所・山形市教育委員会主管の研修

- (1) 各教育事務所・山形市教育委員会が指定した期日を通知し、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動などの課題研究を行う。授業参観や実践を通して研修を深めるとともに、校内における研修との関係を図りながら、研修者自らの課題解決に向けての研修を行う。研修に当たっては、研修者の自主性が発揮されるよう配慮する。
- (2) 内容、日程等の詳細については、各教育事務所・山形市教育委員会が別に示す計画に従って行う。

## 8 校内における研修

- (1) 山形県教員「指標」の始発期における重点項目を参考にしながら、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、その他の領域も含めた研修者の実態を考慮した研修内容とする。
- (2) 2年次での小学校における教科指導は、今後全教科担当することを想定し、初任者研修から3年次フォローアップ研修までの3年間を通して全教科(外国語の代わりに外国語活動も可)を実施することを踏まえ計画する。ただし、学校の実情に応じて、授業づくりへの参加、TT、参観等を含めて弾力的に実施できるものとする。
- (3) 研修者が自らの課題解決に向けて、計画的に授業研究等を企画し取り組むことができるよう、校長は校内の他の教員の助言等が受けられるように配慮する。

## 9 受講に係る旅費

＜市町村立小学校・中学校・義務教育学校教員＞

受講に係る旅費は、年度当初、教育事務所に配当替の10款1項5目より支給する。  
(山形県教育センター別枠予算差引の支出)

＜県立中学校教員＞

受講に係る旅費は、年度当初、所属に配当替の１０款１項５目より支給する。

## 10 研修計画書の作成

研修計画書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。その際、研修の趣旨を踏まえ研修者の課題解決の契機となりえるものとする。

## 11 実施報告書の作成

実施報告書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。

## 12 提出書類

校長は、研修計画書及び実施報告書を以下のとおり提出する。ただし、教職大学院修了者は校内における研修（３０時間）が免除のため、実施報告書のみを提出する。

市町村立小学校・中学校・義務教育学校・・・当該市町村教育委員会教育長

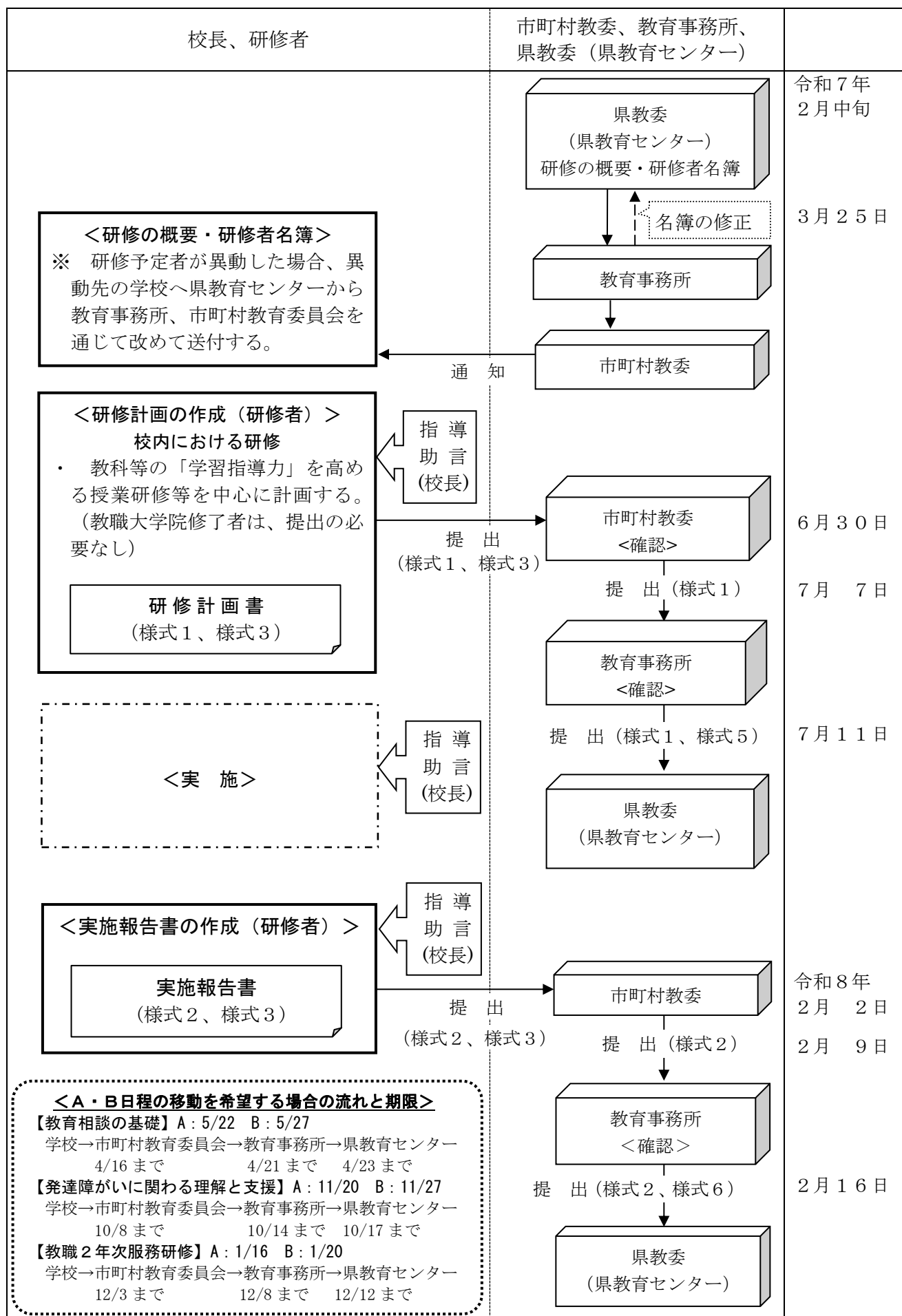
県立中学校・・・・・・・・・・・・・・・・山形県教育センター所長

提出書類	様式	提出先	提出期限
研修計画書	様式１ 様式３（県立は４）	当該市町村教育委員会教育長 又は	令和７年６月３０日（月）
実施報告書	様式２ 様式３（県立は４）	山形県教育センター所長	令和８年２月 ２日（月）

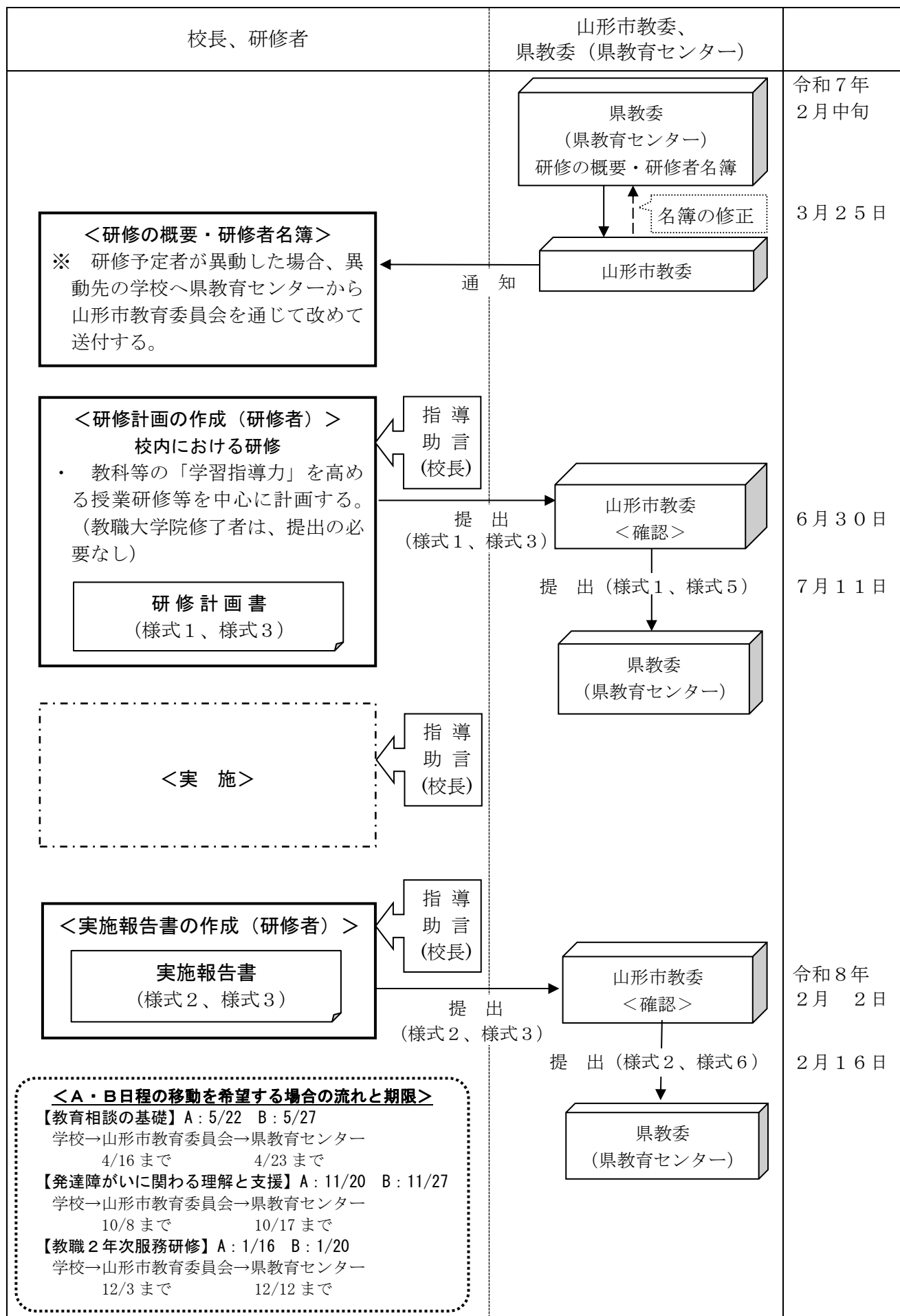
※ 書類は電子データで提出すること。市町村立学校が紙媒体で提出する場合は、市町村教育委員会の指示による。

※ 各書類の作成及び提出に当たっては、研修の概要と共に送付する様式、または山形県教育センターWebページにある様式を活用すること。

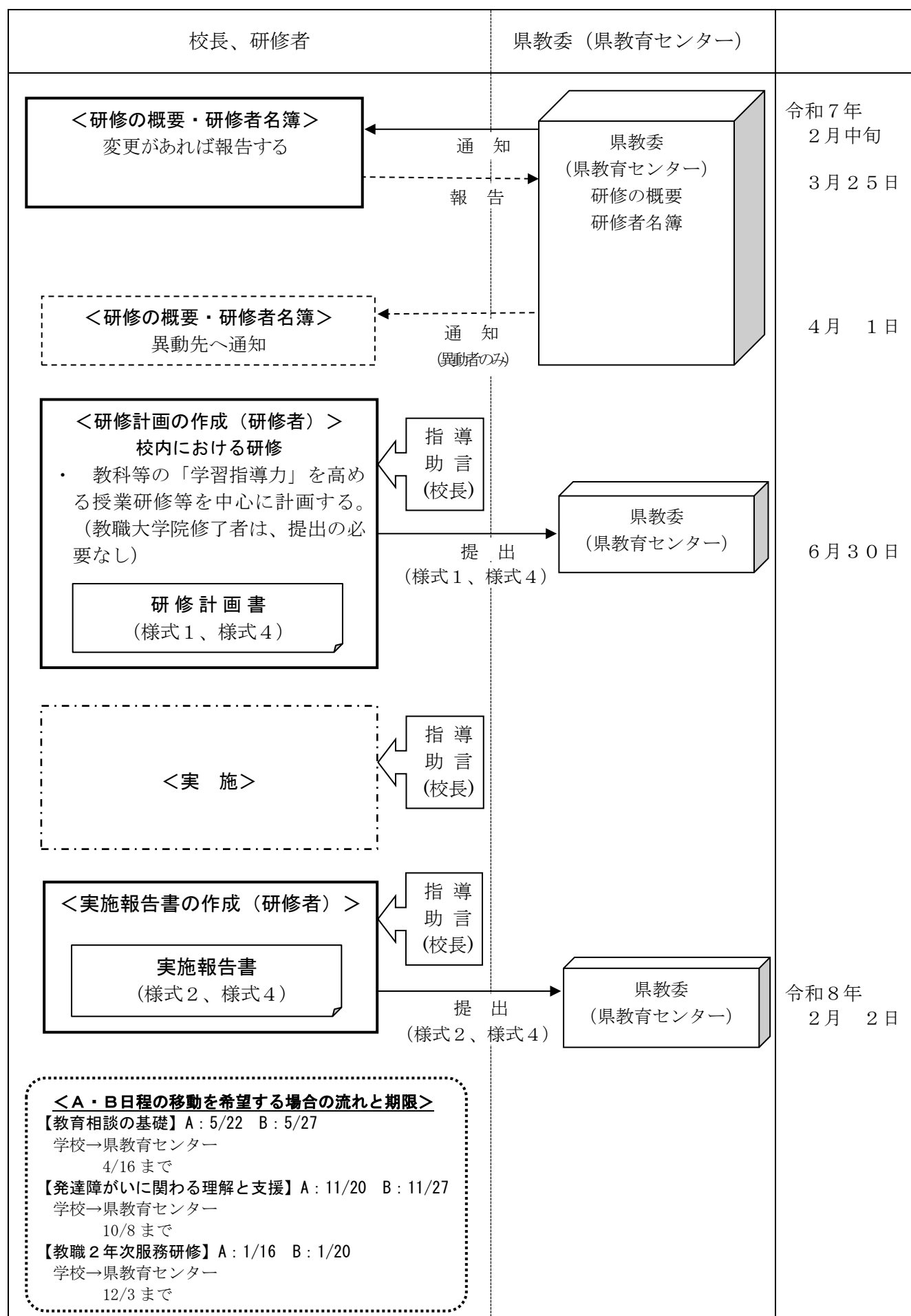
13 教職2年次フォローアップ研修の実施手順（小学校・中学校・義務教育学校）



13 教職2年次フォローアップ研修の実施手順（山形市立小学校・中学校）



13 教職2年次フォローアップ研修の実施手順（県立中学校）





## 様式 1 の記入例

### 令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職 2 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名 ○○市立○○小学校	校長名 □□ □□
研修者名 ◇◇ ◇◇	

#### 校内における研修

研修期間は、5 月から翌年 1 月末までを原則とし計画する。研修内容は、『令和 6 年度初任者研修の手引—小学校・中学校・義務教育学校—』（p 22～29）を参考にし、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等については、小学校は各教科、中学校は単元（題材）ごとに、その他の研修については領域ごとに、年間 30 時間以上になるように記入する。

	研修項目	単元・研修内容	参集者	実施時数計	備考
5 月 ～ 6 月	国語	単元名「おおきな かぶ」 ・学習指導案の作成及び検討 ・教材、教具の作成と活用 ・授業研究の実施 ・学習の評価について	研究主任 国語主任 1 年担任団	11 時間	
記入例 1 学期	I C T 活用力 ・情報 モラル	・ I C T 機器の適切な活用理解 ・授業での I C T 機器の活用 ・ I C T 機器活用の授業参観	情報主任 2 年次・3 年 次研修者	5 時間	
記入例 9 月 ～ 10 月	音楽	題材名「けんぱんハーモニカ どれみとなかよくなろう」 ・学習指導案（略案）の作成及び検討 ・同題材授業の参観 ・授業研究の実施 ・事後研究の実施	音楽主任 1 年担任団	8 時間	
記入例 11 月 ～ 12 月	外国語 活動	単元名「これなあに？」 ・学習指導要領解説外国語活動編の 理解 ・授業づくりへの参加 ・授業（T T）の実施	3 学年外国 語活動授業 者	6 時間	
計				30 時間	

※ 必要に応じて欄の増減可。2 枚以内で記入する。

※ 教職大学院修了者は校内における研修（30 時間）が免除のため、研修計画書の提出は必要なし。

※ 教科等の「学習指導力」を高める授業研修等が中心となるが、「学習指導力」以外（その他の領域）の研修を行う場合は、例として次のような研修内容も考えられる。

・生徒指導力	児童生徒の実態把握と理解の方法	生徒指導主任	○時間
・総合的な人間力	P T A 活動運営の実際	教頭	○時間
・危機管理対応能力	安全管理と事故防止	養護教諭	○時間

## 様式 1

### 令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職 2 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名	校長名
研修者名	

#### 校内における研修

研修期間は、5 月から翌年 1 月末までを原則とし計画する。研修内容は、『令和 6 年度初任者研修の手引—小学校・中学校・義務教育学校—』（p 22～29）を参考にし、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等については、小学校は各教科、中学校は単元（題材）ごとに、その他の研修については領域ごとに、年間 30 時間以上になるように記入する。

	研修項目	単元・研修内容	参集者	実施時数計	備考
				時間	
				時間	
				時間	
				時間	
計				時間	

※ 必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。

※ 教職大学院修了者は校内における研修（30 時間）が免除のため、研修計画書の提出は必要なし。

## 様式 2

### 令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職 2 年次フォローアップ研修 実施報告書

学校名	校長名
研修者名	<input type="checkbox"/> ※教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。

#### 1 校外における研修について

「教育相談の基礎」「発達障がいに関わる理解と支援」「教職 2 年次服務研修」「教育事務所・山形市教育委員会課題研究研修」を受講しての成果と課題について記入すること。

--

※ 教職大学院修了者は校外における研修のみ記入する。

#### 2 校内における研修について

教科等の「学習指導力」を高める授業研修等は、授業中、授業後の児童生徒の様子から自らの授業づくりの在り方を評価した成果と課題について、その他の研修は、研修を実施したことによる成果と課題について記入すること。

教科名・単元名等	成果と課題	実施時数
		時間
		時間
		時間
計		時間

※ 実施した教科・単元ごとに記入し、必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。

**様式 3**（小学校・中学校・義務教育学校用）

令和〇年〇月〇日

〇〇市町村教育委員会教育長 殿

〇〇〇立〇〇〇学校長

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 2 年次フォローアップ  
研修の関係書類について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 2 年次フォローアップ研修  
〇〇〇〇〇

様式 4（県立中学校用）

記 号 番 号  
令和〇年〇月〇日

県教育センター所長 殿

県立〇〇〇学校長

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 2 年次フォローアップ研修の  
関係書類について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 2 年次フォローアップ研修  
〇〇〇〇〇

**様式 5（教育事務所・山形市教育委員会用）**

令和 7 年度教育事務所・山形市教育委員会における教職 2 年次フォローアップ研修計画書

（ ） 教育事務所／山形市教育委員会

〔課題研究研修（2 日：午後開催）〕

回数	日 時		研修内容	方法	場所	講 師	備 考
1	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					
2	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					

**様式 6（教育事務所・山形市教育委員会用）**

令和 7 年度教育事務所・山形市教育委員会における教職 2 年次フォローアップ研修実施報告書

（ ） 教育事務所／山形市教育委員会

〔課題研究研修（2 日：午後開催）〕

回数	日 時		研修内容	場所	成果（○） 課題（△）	備 考
1	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				
2	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				

# 令和7年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職3年次フォローアップ研修の概要

## 1 目 的

山形県教員「指標」の始発期における公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。

## 2 主 催 山形県教育委員会

## 3 対象者

令和5年度に実施した、山形県小学校・中学校・義務教育学校初任者研修、山形県特別支援学校初任者研修、山形県高等学校初任者研修のいずれかを受講した者で、山形県公立小学校・中学校・義務教育学校の教諭（令和7年4月1日現在）とする。ただし、令和5年度以前に、教諭として国立学校又は公立の学校において1年以上勤務した経験者は含まない。

## 4 研修の内容・回数等

校内研修・ 校外研修の 区別	主 管	回数・時間 等		研 修 内 容
校外	山形県 教育センター	2回	1回 (午後)	○教育公務員としての自覚を高める研修 ・教職3年次服務研修（A・B日程）
			1回	○総合的な人間力を高める研修 ・県教育委員会が作成する「フォローアップ研修講座一覧」から、研修者が各自の課題に基づいて選択して受講する。
	教育事務所 山形市教育委員会	2回(午後)		・課題研究研修
校内		30時間		・校長等の指導の下、計画的・継続的な授業研究等

※ 教職大学院修了者は、校内における研修（30時間）を免除する。

※ 研修の実施日は、5月から翌年1月までの期間を原則とする。

※ 県教育委員会が作成する「フォローアップ研修講座一覧」は、県教育センターWebページ上に掲載する。

## 5 年間研修計画

(1) 県教育委員会は、年間研修計画を作成し、次のことを定める。

- ① 校外、校内研修の内容及び日数等
- ② その他必要な事項

(2) 教育事務所・山形市教育委員会は、県教育委員会が定める年間研修計画に基づき、



地域の実情に配慮して、それぞれにおける研修計画を作成する。

- ① 教育事務所・山形市教育委員会は、それぞれにおける研修計画書、実施報告書を県教育センター所長へ提出する。
- ② 提出期限は、「13 教職3年次フォローアップ研修の実施手順」を参照すること。

## 6 山形県教育センター主管の研修

- (1) 「教育公務員としての自覚を高める研修」として「教職3年次服務研修」を実施する。A・B日程で行うため、研修者は自身の日程を別添「研修者名簿」で確認すること。日程の移動を希望する場合は、下記のとおり連絡が必要となる。なお、市町村立学校の連絡方法等については、当該市町村教育委員会の指示によるものとする。ただし、山形県教育センター着の期限を過ぎた場合には、原則移動を認めない。

- ① 期 日      A日程    令和7年12月    3日（水）  
                 B日程    令和7年12月    9日（火）
- ② 会 場      所属校等（Zoomを利用したオンライン型研修）
- ③ 主な講師    山形県教育局教職員課管理主事  
                 山形県教育センター指導主事
- ④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

連絡先 所属校	市町村教育委員会	教育事務所 (山形市教育委員会を除く)	山形県教育センター
市町村立学校	令和7年 10月22日(水)まで	令和7年 10月28日(火)まで	令和7年 10月31日(金)まで
県立学校	※ 下記メール宛て連絡（様式は任意） kyose-kensyu@pref.yamagata.jp		令和7年 10月22日(水)まで

- (2) 「総合的な人間力を高める研修」については、校長、副校長、教頭の指導・助言の下、研修者の実態を考慮して参加する研修講座を選択する。その際、各学校で申込み手続き等を行うこと。

## 7 教育事務所・山形市教育委員会主管の研修

- (1) 各教育事務所・山形市教育委員会が指定した期日を通知し、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動などの課題研究を行う。授業参観や実践を通して研修を深めるとともに、校内における研修との関係を図りながら、研修者自らの課題解決に向けての研修を行う。研修に当たっては、研修者の自主性が発揮されるよう配慮する。
- (2) 内容、日程等の詳細については、各教育事務所・山形市教育委員会が別に示す計画に従って行う。

## 8 校内における研修

- (1) 山形県教員「指標」の始発期における重点項目を参考にしながら、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、その他の領域も含めた研修者の実態を考

慮した研修内容とする。

- (2) 3年次での小学校における教科指導は、今後全教科担当することを想定し、初任者研修から3年次フォローアップ研修までの3年間を通して全教科（外国語の代わりに外国語活動も可）を実施することを踏まえ計画する。ただし、学校の実情に応じて、授業づくりへの参加、TT、参観等を含めて弾力的に実施できるものとする。
- (3) 研修者が自らの課題解決に向けて、計画的に授業研究等を企画し取り組むことができるよう、校長は校内の他の教員の助言等が受けられるように配慮する。

## 9 受講に係る旅費について

＜市町村立小学校・中学校・義務教育学校教員＞

受講に係る旅費は、年度当初、教育事務所に配当替の10款1項5目より支給する。  
(山形県教育センター別枠予算差引の支出)

＜県立中学校教員＞

受講に係る旅費は、年度当初、所属に配当替の10款1項5目より支給する。

## 10 研修計画書の作成

研修計画書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。その際、研修の趣旨を踏まえ研修者の課題解決の契機となりえるものとする。

「総合的な人間力を高める研修」については、研修計画書の提出だけでは研修会等の申込み手続きとはならない。各学校で申込み手続き等を行うこと。

## 11 実施報告書の作成

実施報告書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。

## 12 提出書類

校長は、研修計画書及び実施報告書を以下のとおり提出する。ただし、教職大学院修了者は校内における研修（30時間）が免除のため、研修計画書は、「総合的な人間力を高める研修」講座のみを記入し、提出する。実施報告書は、校外における研修についてのみ記入し、提出する。

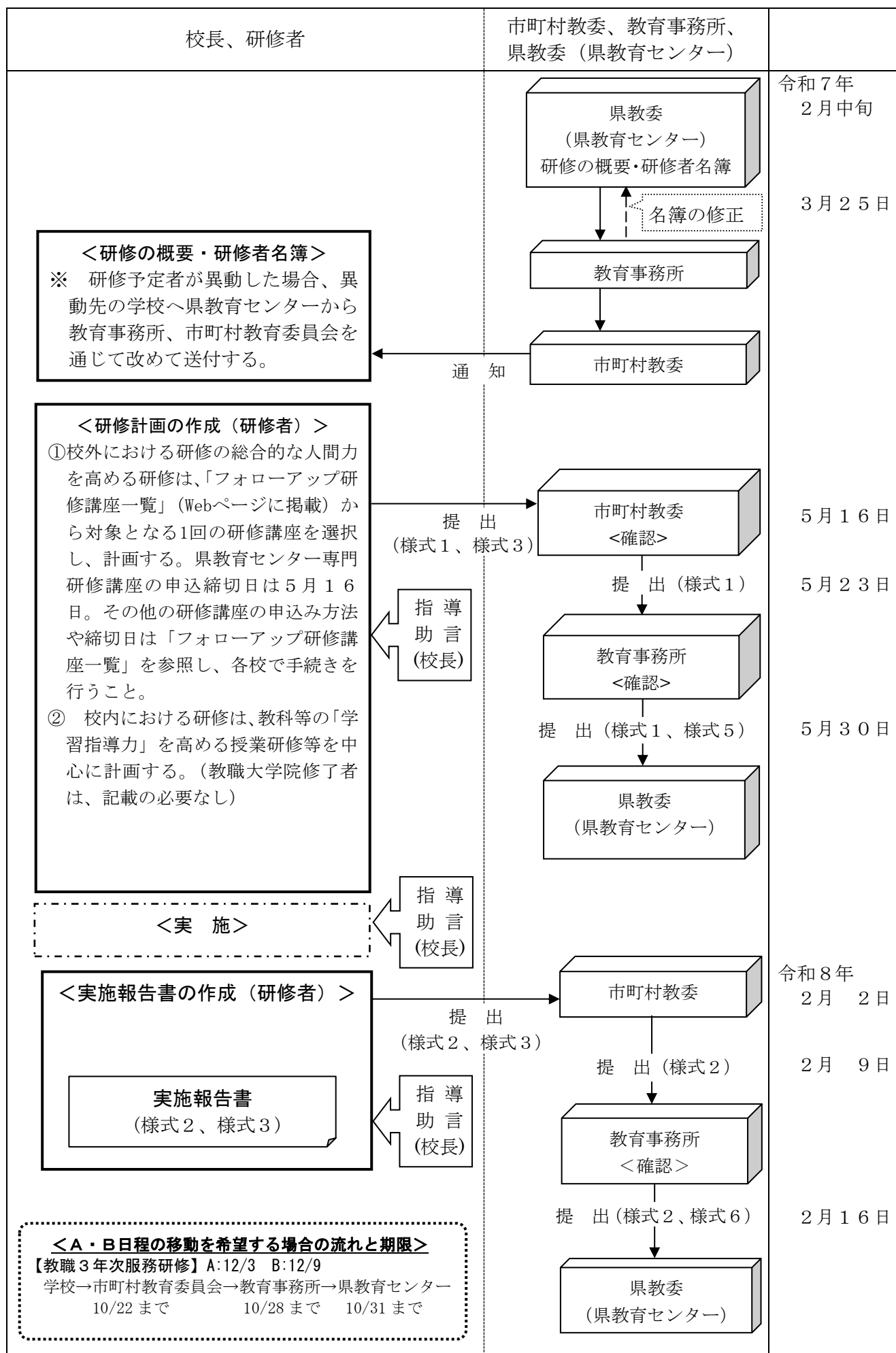
市町村立小学校・中学校・義務教育学校・・・当該市町村教育委員会教育長  
県立中学校・・・・・・・・・・・・・・・・山形県教育センター所長

提出書類	様式	提出先	提出期限
研修計画書	様式1 様式3（県立は4）	当該市町村教育委員会教育長 又は 山形県教育センター所長	令和7年5月16日（金）
実施報告書	様式2 様式3（県立は4）		令和8年2月 2日（月）

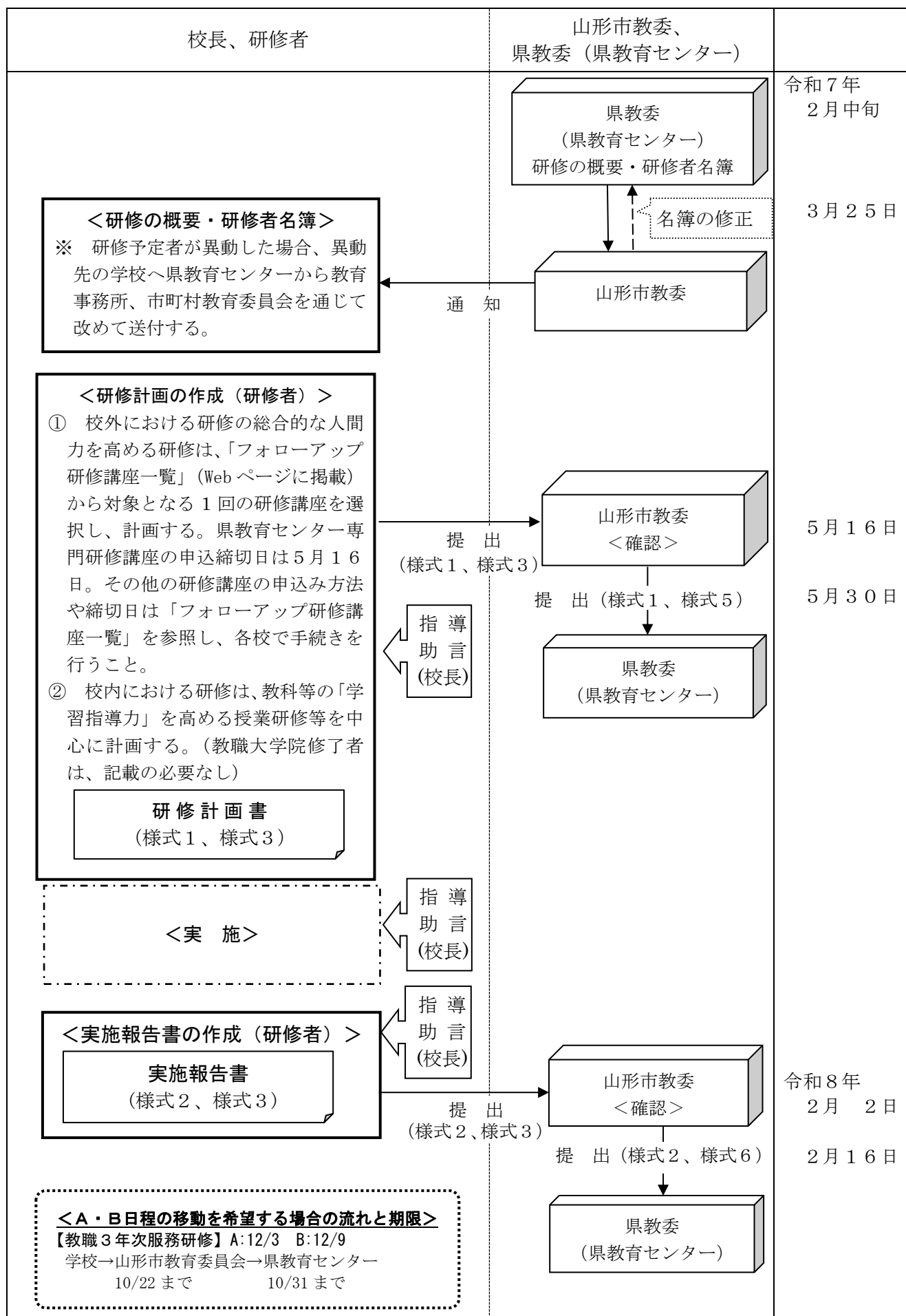
※ 書類は電子データで提出すること。市町村立学校が紙媒体で提出する場合は、市町村教育委員会の指示による。

※ 各書類の作成及び提出に当たっては、研修の概要と共に送付する様式、または山形県教育センターWebページにある様式を活用すること。

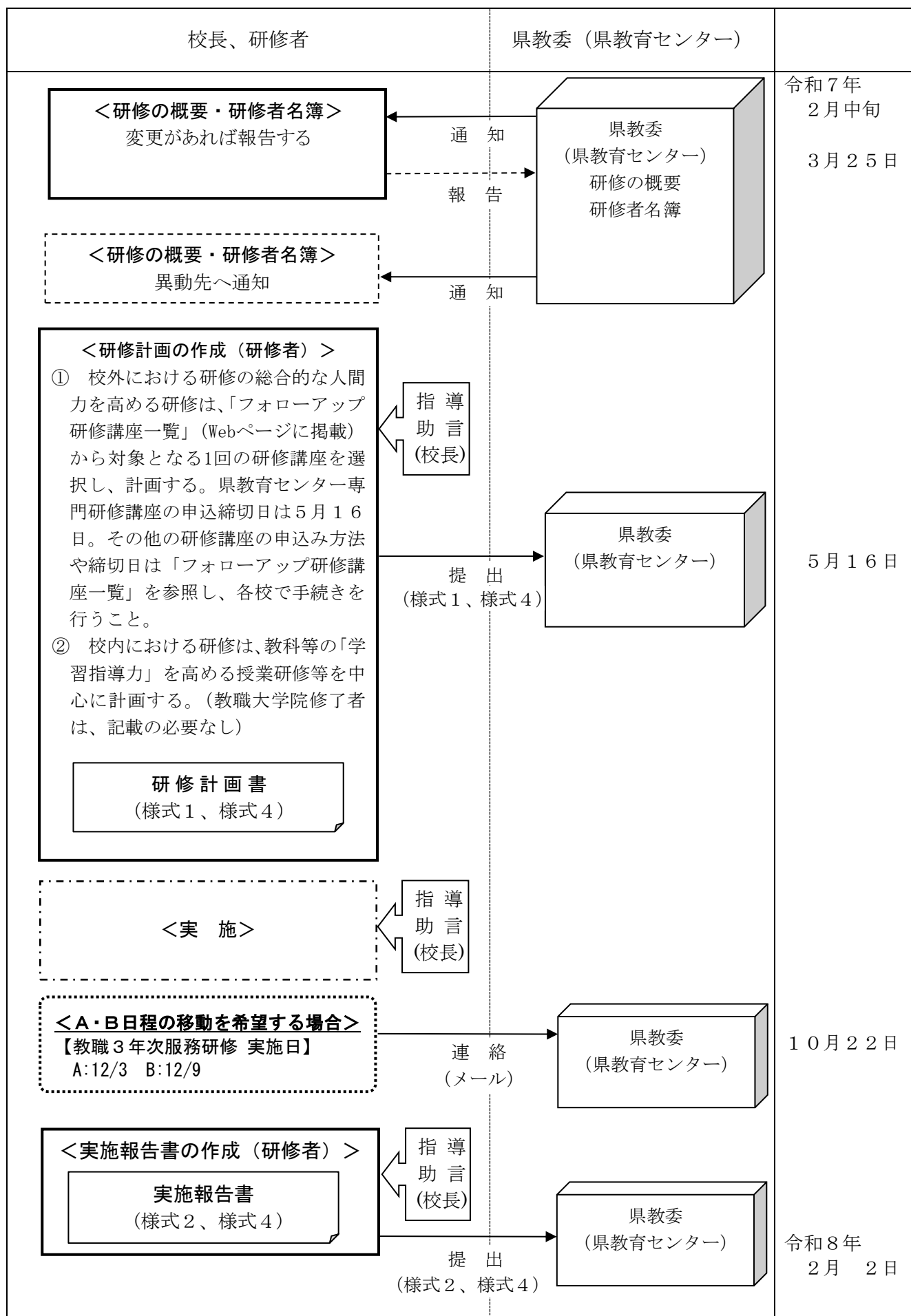
13 教職3年次フォローアップ研修の実施手順（小学校・中学校・義務教育学校）



### 13 教職3年次フォローアップ研修の実施手順（山形市立小学校・中学校）



### 13 教職3年次フォローアップ研修の実施手順（県立中学校）



## 様式 1 の記入例

### 令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職 3 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名 ○○市立○○小学校	校長名 □□ □□
研修者名 ◇◇ ◇◇	<input type="checkbox"/> ※教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。

#### 1 校外における研修 「総合的な人間力を高める研修」

県教育委員会が作成する「フォローアップ研修講座一覧」（県教育センターwebページに掲載）より 1 回の研修講座を選択すること。計画書の提出だけでは申込み手続きとはならないため、各学校で申込み手続き等を行うこと。

期 日	研修講座等の名称	会 場
令和 7 年 7 月○○日 (○)	授業力アップ講座【生活 (小)】	県教育センター

- ☒ ※ 県教育センターで開催する研修講座については、5 月 1 6 日まで Plant から申込み手続きを行った後、左枠に☒を入れてから提出する。
- ※ 県教育センター以外が主催する研修講座については、各学校で問い合わせ、申込み手続等を行うこと。
- ※ 教職大学院修了者は校内における研修（30 時間）が免除のため、研修計画書は、校外における研修「総合的な人間力を高める研修」のみ記入し提出する。

#### 2 校内における研修

研修期間は、5 月から翌年 1 月末までを原則とし計画する。研修内容は、『令和 5 年度初任者研修の手引—小学校・中学校・義務教育学校—』（p 22～29）を参考にし、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等については、小学校は各教科、中学校は単元（題材）ごとに、その他の研修については領域ごとに、年間 30 時間以上になるように記入する。

	研修項目	単元・研修内容	参集者	実施時数計	備考
5 月 ～ 6 月	国語	単元名「おおきな かぶ」 ・学習指導案の作成及び検討 ・教材、教具の作成と活用 ・授業研究の実施 ・学習の評価について	研究主任 国語主任 1 年担任団	11 時間	
1 学期	ICT 活用 情報モラル	・ICT 機器の適切な活用理解 ・授業での ICT 機器の活用 ・ICT 機器活用の授業参観	情報主任 2 年次・3 年次研修者	5 時間	
9 月 ～ 10 月	音楽	題材名「けんぱんハーモニカ どれみとなかよくなろう」 ・学習指導案（略案）の作成及び検討 ・同題材授業の参観 ・授業研究の実施 ・事後研究の実施	音楽主任 1 年担任団	8 時間	
11 月 ～ 12 月	外国語活動	単元名「これなあに？」 ・学習指導要領解説外国語活動編の理解 ・授業づくりへの参加 ・授業（TT）の実施	3 学年外国語活動授業者	6 時間	
計				30 時間	

※ 必要に応じて欄の増減可。2 枚以内で記入する。

※ 教科等の「学習指導力」を高める授業研修等が中心となるが、「学習指導力」以外（その他の領域）の研修を行う場合は、例として次のような研修内容も考えられる。

・生徒指導力	児童生徒の実態把握と理解の方法	生徒指導主任	○時間
・総合的な人間力	P T A 活動運営の実際	教頭	○時間
・危機管理対応能力	安全管理と事故防止	養護教諭	○時間

## 様式 1

# 令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職 3 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名	校長名
研修者名 <input type="checkbox"/> ※教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。	

## 1 校外における研修 「総合的な人間力を高める研修」

期 日	研修講座等の名称	会 場
令和 年 月 日 ( )		

- ☐ ※ 県教育センターで開催する研修講座については、5月16日まで Plant から申込み手続きを行った後、左枠に☒を入れてから提出する。
- ※ 県教育センター以外が主催する研修講座については、各学校で問い合わせ、申込み手続等を行うこと。
- ※ 教職大学院修了者は校内における研修（30時間）が免除のため、研修計画書は、校外における研修「総合的な人間力を高める研修」のみ記入し提出する。

## 2 校内における研修

	研修項目	単元・研修内容	参集者	実施時数計	備考
				時間	
				時間	
				時間	
				時間	
計				時間	

※ 必要に応じて欄の増減可。ただし2枚以内で記入する。

## 様式 2

### 令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校 教職 3 年次フォローアップ研修 実施報告書

学校名	校長名
研修者名 <input type="checkbox"/> ※教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。	

#### 1 校外における研修について

##### (1) 「総合的な人間力を高める研修」実施報告

期 日	研修講座等の名称	会 場
令和 年 月 日 ( )		

##### (2) 「教職 3 年次服務研修」「総合的な人間力を高める研修」「教育事務所・山形市教育委員会課題研究研修」を受講しての成果と課題について記入すること。

--

※ 教職大学院修了者は校外における研修のみ記入する。

#### 2 校内における研修について

教科等の「学習指導力」を高める授業研修等は、授業中、授業後の児童生徒の様子から自らの授業づくりの在り方を評価した成果と課題について、その他の研修は、研修を実施したことによる成果と課題について記入すること。

教科名・単元名等	成果と課題	実施時数
		時間
		時間
計		時間

※ 実施した教科・単元ごとに記入し、必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。



**様式 3**（小学校・中学校・義務教育学校用）

令和〇年〇月〇日

〇〇市町村教育委員会教育長 殿

〇〇〇立〇〇〇学校長

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 3 年次フォローアップ研修の  
関係書類について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 3 年次フォローアップ研修  
〇〇〇〇〇

**様式 4（県立中学校用）**

〇〇〇第〇〇〇号  
令和〇年〇月〇日

県教育センター所長 殿

県立〇〇〇学校長

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 3 年次フォローアップ研修の  
関係書類について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和 7 年度山形県小学校・中学校・義務教育学校教職 3 年次フォローアップ研修  
〇〇〇〇〇

**様式 5（教育事務所・山形市教育委員会用）**

令和 7 年度教育事務所・山形市教育委員会における教職 3 年次フォローアップ研修計画書

（ ） 教育事務所／山形市教育委員会

〔課題研究研修（2 日：午後開催）〕

回数	日 時		研修内容	方法	場 所	講 師	備 考
1	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					
2	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○					

**様式 6（教育事務所・山形市教育委員会用）**

令和 7 年度教育事務所・山形市教育委員会における教職 3 年次フォローアップ研修実施報告書

（ ） 教育事務所／山形市教育委員会

〔課題研究研修（2 日：午後開催）〕

回数		日 時	研修内容	場所	成果（○） 課題（△）	備 考
1	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				
2	A	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				
	B	○月○日 (○) ○○：○○ ～○○：○○				